

審議会（第1部会、第2部会）意見対応一覧表

No.	担当部会	該当部分	意見	意見反映方針等（案）	担当課	修正
1	第1部会	—	すべての基本施策で新型コロナウイルス感染症対策について書き込むことは難しいが、配慮すべき課題。答申の際の特記事項として書き加えるなどの対応を今後検討したらどうか。	—	—	—
2	第1部会	基本施策9 学校教育 （1）教育内容の充実 ②特色ある教育の推進	ICTの環境整備については、新型コロナウイルス感染症の影響でタブレット端末の導入は進んでいると思う。今後、タブレット端末を有効活用するためのソフト面での取組についてしっかり記載する必要がある。現状は、ハードの導入が中心のような記載になっている。	主要事業欄を以下のとおり修正 「◆ICT環境整備事業」 ⇒「◆情報教育推進事業」	学校教育課	有り
3	第1部会	基本施策9 学校教育	お金に対する教育をした方がいい。お金の大切さや扱い方、だまされないようにすることなど、小さい頃から身に付けさせておくべき。 「キッザニア」のような取組を通じて、自分でお金を稼いで使うという認識を持つことが大事。教育委員会や現場でも検討していただけるとありがたい。	個別施策への記載はしない。	学校教育課	—
4	第1部会	基本施策12 文化財の保護・継承 （2）山車文化の継承 ①山車文化の継承と情報発信	情報発信については、山車そのものについてだけでなく、誰でも関わることができるという趣旨の情報について発信することも大事。良い提案なので、施策の内容に付け加えることを検討してもらえればと思う。	個別施策の内容欄に網掛け部のとおり追記 「岩倉市山車保存会と連携し、山車やからくり人形の保護、お囃子や山車曳きにふれる機会の創出に努めるとともに、桜まつり等イベントや学校活動を通じた山車文化の効果的な情報発信を行います。また、広く担い手を確保するための取組を支援します。」	生涯学習課	有り
5	第1部会	基本施策12 文化財の保護・継承 （2）山車文化の継承 ①山車文化の継承と情報発信	お囃子の譜面等について、誰でも読める形で残していくことも大事。そういうことも施策の内容に書き加えることができると良い。	個別施策への記載はしない。	生涯学習課	無し
6	第1部会	基本施策28 市民協働・地域コミュニティ （2）地域コミュニティの強化 ①行政区への支援	「各行政区」は、「行政区」の表記でもいいのではないか。	「行政区」に修正	協働安全課	有り

No.	担当部会	該当部分	意見	意見反映方針等（案）	担当課	修正
7	第1部会	基本施策 29 平和・共生 (3) 多文化共生・国際交流の推進 ① 多文化共生の推進	外国人をサポートの対象としてしか見ていないことが課題。日本語ができない人をサポートするという発想ではなく、彼らの技術やノウハウを大切に、まちづくりの一員として共生していくという視点も大事。特に、岩倉市は外国人に関する問題が多くないということなので、尚更、そういう視点を入れてほしい。	個別施策の内容欄を網掛け部のとおり修正 「外国人サポート窓口の充実ややさしい日本語を活用した情報支援、災害時の支援体制の確保に努めるとともに、国籍等の異なる市民が交流により相互理解を促進し、すべての市民が地域社会の一員として支え合う多文化共生のまちづくりを推進します。」 また、外国籍市民等の生活を支援するための日本語教室や健康相談を行う岩倉市国際交流協会の活動を支援します。」 ※【現状と課題】、【基本成果指標】に記載の「外国人」についても「外国籍市民」に変更	協働安全課	有り
8	第1部会	基本施策 31 行政経営・財政運営 基本成果指標 ※基本計画各論全般に関係	指標や数値設定に関する補足説明は指標の表のすぐ下にある方がわかりやすい。	冊子のレイアウト検討の際に配慮	秘書企画課	—
9	第2部会	基本施策 16 住環境形成	市営住宅は廃止の方向ということだが、住宅確保要支援者のための施策はどうなっているか。市街化区域や空き家、中心市街地への人口誘導など、これらを都市計画マスタープランでカバーする自治体が多いが、岩倉ではどうか。住生活基本計画は策定しているか。市営住宅を廃止する方向で検討している中、住環境、居住といった問題をどう扱うか、市民、住民に寄せた形での寄り添った計画として必要ではないか。策定義務はないが、他でカバーできていないのであれば策定する必要があると思う。	現時点では、大きな課題として表面化していないため、市営住宅廃止の検討を進める中で必要に応じて検討する。 現時点では、住生活基本計画の策定はしない。また、本各論の内容についても追記・修正はしない。	都市整備課	無し